

2017年12月18日

ヘンケルジャパン、NEV 向け新規熱伝導性/絶縁材料を提案 ～第10回[国際]カーエレクトロニクス技術展 出展～

ドイツの化学・消費財メーカー ヘンケルの日本法人ヘンケルジャパン株式会社(本社:東京都品川区 社長:金井 博之)のエレクトロニクス事業部は、「第10回[国際]カーエレクトロニクス技術展」(会期:2018年1月17日～19日 会場:東京ビッグサイト)に出展します。

ヘンケルジャパンブースでは、EV/HEV/PHEV のリチウムイオンバッテリー用途向け熱伝導性/絶縁材料の新規開発品を披露するほか、熱伝導性ギャップ充填材料 Gap Filler(ギャップフィラー)の実際の採用事例、実工程を想定したディスペンサーのデモンストレーション、DENSO 社製 Energy Eye での熱流測定実演を行います。

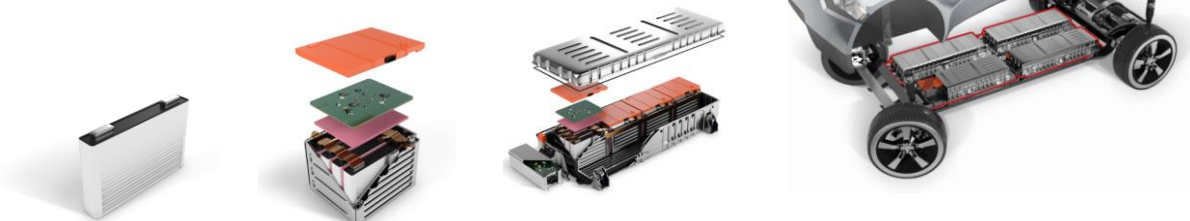
<ヘンケルジャパン 主な展示製品>

■ NEV 向け開発品ゾーン

- EV/HEV/PHEV のリチウムイオンバッテリー用途向け熱伝導性材料
2液型高熱伝導性シリコンフリーTIM(サーマルインターフェースマテリアル)の開発品を展示。
軽量化タイプと多量押し出し可能なタイプの2製品を紹介します。
- EV/HEV/PHEV のリチウムイオンバッテリー用途向け絶縁・熱伝導コーティング材料
絶縁性能と熱伝導性を兼ね備えた材料です。開発品を含む2製品を紹介します。

■ 実績ゾーン

- 熱伝導性ギャップ充填材料 Gap Filler(ギャップフィラー)の豊富な採用事例
実際の採用事例(DC/DCなど)を展示します。
- 実際の工程を想定したディスペンサー実演
- DENSO 社製 Energy Eye での熱流測定実演



LOCTITE BONDERITE TECHNOMELT TEROSON AQUENCE Ceresit

<展示会概要>

名称：第10回[国際]カーエレクトロニクス技術展

会期：2018年1月17日(水)～19日(金) 10:00～18:00 (最終日は17:00終了)

会場：東京ビッグサイト

主催：リードエグジビション ジャパン株式会社

概要：カーエレクトロニクスの進化を支える半導体・電子部材、ソフトウェア、テスト技術など一堂に出展する本分野世界最大の専門展。

【Henkel Japanブース番号】：E42-28 (東5ホール)

<http://www.car-ele.jp/To-Visit/Floor-Plan/>

Henkelについて

Henkelはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー&ホームケア、ビューティーケア、アドヒーズテクノロジー(接着技術)の3つの分野で事業展開をしています。Henkelは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)、Loctite(ロックタイト)などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。Henkelの従業員数は50,000人超であり、2016年の売上高は187億ユーロ、調整後の営業利益は31.7億ユーロを計上しました。Henkelの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っております。

Henkel Japanホームページ：<http://www.henkel.co.jp>

Henkel Japanフェイスブックページ：<http://www.facebook.com/HenkelJapan>

－本件に関するお問合せ先－

Henkel Japan株式会社 接着技術事業部門

マーケティング部 担当：清晴世

TEL: 045-758-1784 e-mail: haruyo.sei@henkel.com